

音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議について

1. 開催理由・目的

(1) ユネスコ創造都市ネットワーク加盟申請書記載事業

浜松市としてユネスコの理念である文化的多様性を音楽を通じて具現していくことを目指し、国際会議を開催することを明記している。

2015年には、「音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議」を開催する。この国際会議では、専門家や学識経験者を招聘し、音楽を通じてユネスコの理念である文化的多様性の実現を目指す。

(ユネスコ創造都市ネットワーク加盟申請書 P17 より抜粋)

学術的なアプローチになるが、音楽創造都市の可能性を追求する意味で2015年に開催する「音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議」の有効なプログラムの一つとして加盟都市との協働体制で実施し、文化教育施設の知的・人的ネットワークをスタートさせていきたい。

(ユネスコ創造都市ネットワーク加盟申請書 P18 より抜粋)

(2) 音楽の都・浜松の国内外へのPR

国際会議を通じて音楽の持つ創造性を探求するとともに、「音楽の都・浜松」の取り組みを国内外に情報発信していく機会とする。

(3) ユネスコ創造都市・音楽分野の加盟都市との連携

国内加盟4都市（名古屋・神戸・金沢・札幌）の取り組み事例を参考としながら、ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野の加盟都市の参加を促し連携を図る。

(4) 世界（民族）音楽の祭典との連携

国際会議の開催を翌年度の“(仮称)世界（民族）音楽の祭典”に結び付けていく。

2. 開催時期、開催会場

(1) 開催時期

平成27年度

→平成27年12月に開催される浜松国際ピアノコンクールと合わせ効果を高めるなどが考えられる。

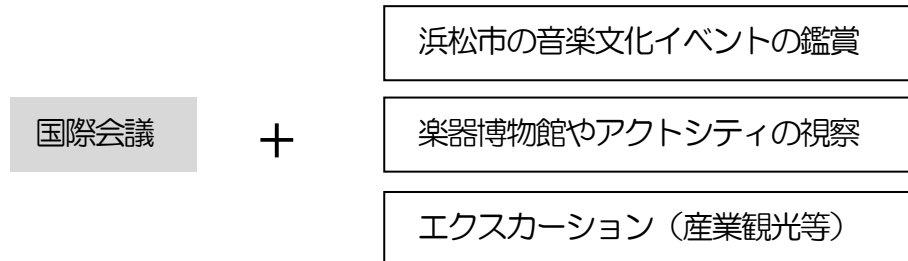
(2) 開催会場

アクトシティ浜松、楽器博物館 ほか

3. 国際会議のスタイル

(1) 国際会議+

国際会議だけを開催するのではなく、+ の要素（おもてなし・浜松を知っていただく機会の提供・アフターコンベンション等）を加え創造都市相互の交流、浜松市の魅力的な音楽資源の国際的なPRを図っていく。



(2) 国際会議のプログラム構成の案

①基調講演

→創造都市の連携や音楽文化の振興、文化的多様性の実現などについて国際的な見地を持つ文化人、有識者等による講演。

②実践発表

→ユネスコ創造都市ネットワーク・音楽分野の加盟都市に先進的な取り組み事例を発表いただく。

分科会又はパネルディスカッション

→楽器、楽器産業、文化多様性など浜松市としてテーマを設定し参加都市相互で議論を進めるもの。（例：世界の楽器、民族音楽、音楽産業技術、サウンドデザインなど）

交流会等

→ユネスコ創造都市ネットワークの加盟都市相互、浜松市音楽関係者との交流を進める。

4. 参加予定者

(1) 海外都市

→ユネスコ創造都市ネットワーク、音楽分野の加盟都市 ほか

(2) 国内都市

→国内における創造都市、加盟都市および創造都市ネットワーク日本参加都市 ほか

(3) 音楽関係者・その他

→創造都市推進に係る関係者、浜松市の音楽関係者、一般市民 ほか

5. 実施方法・実施主体

(1) 実行委員会方式